

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【商工観光部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧外山御料牧場を示す看板設置や資料の展示をしていただきたい ・ 石川啄木記念館の活性化および函館市・文京区との連携や友好関係の締結を促進されたい 	<p>〔看板設置については、産業振興課〕 資料の展示については、新しく歴史民俗資料館の建設を推進する中で検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局歴史文化課）</p> <p>〔友好都市の締結については、企画調整課〕 市では、平成25年12月1日から石川啄木記念館の運営を財団から引き継ぎ、盛岡市文化振興事業団を指定管理者として管理運営を行っております。今後におきましても、盛岡市の主要なブランドとしての「啄木」を官民一体となり顕彰していかなければならないものと存じております。また、函館市とは「かるた大会」を通じた交流事業を行っております。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局歴史文化課）</p>
<p>【教育委員会関係】</p> <p style="text-align: right;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力の向上とあわせ全国平均を下回る体力の一層の向上策を講じられたい 	<p>学力向上については、教員の指導力の向上を図るために、各校の校内研究会への指導主事の派遣、研究指定校による公開研究会の開催を行っております。また、平成21年度以降、継続して開催しております「盛岡市学力向上対策委員会」において、学力向上に係る具体策を検討し、今年度は「児童生徒一人一人の達成感の向上を目指した授業改善」と「小・中学校が連携した家庭学習・読書時間強化週間の実施」に重点的に取り組んでおります。</p> <p>体力向上については、各校において、体力・運動能力調査の結果から、十分な運動量を確保しながら体育授業の改善に取り組むこと、日常的に小学生の外遊びを奨励することなどに取り組んでおります。また、体力向上に関する研究委託や教員研修を行うとともに、スポーツ推進課の事業と連携を図りながら、動きづくりや体力向上に関する研修会に参加するよう指導を行っております。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局学校教育課）</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業観，社会観の醸成をされたい。そのために地区の人材を講師として招聘されたい 	<p>盛岡市では，児童生徒の職業観，社会観を醸成するため，平成19年度に，産業界や関係行政機関等を委員とする「キャリア教育推進協議会」を立ち上げ，各学校での実践を支援するため，「職場体験リスト」の作成やリーフレットの作成を行っております。</p> <p>今年度は，職業に関する講話や授業協力をいただける人材を確保するため，「キャリア・アドバイザーリスト」の作成に取り組んでおります。今後も地区の人材等を活用し，キャリア教育の充実を図るよう，各学校に働きかけてまいります。</p> <p>また，各学校では，生活科や総合的な学習において，地域の人とかかわる活動を行っております。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局学校教育課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中，中高連携の強化を図っていただきたい 	<p>小中連携につきましては，平成21年度から全小中学校において小中一貫教育を推進することとし，計画的に研究指定校を定めながら，研究を進めております。</p> <p>小中一貫教育の推進に当たっては，中学校区や地域の実態を考慮しながら，義務教育9年間を見通した教育活動を工夫するとともに，小中学校の教員が協力して授業の在り方などを研究し，小中学校の連携の強化につながるよう努めております。</p> <p>また，各中学校区では，生徒指導連絡会議の開催，小中合同によるボランティア活動やスポーツ交流，教員相互の授業参観などに取り組んでおります。</p> <p>中高連携につきましては，これまでも，高校への体験入学，中学校と高校の教員が互いの授業を参観する研修，生徒指導上の情報を交換する場，高校の教員が中学校に出向いて高校の教育について説明する場等が設定されておりますほか，盛岡市立高等学校教諭1名を「高等学校教育専門指導員」として兼任発令を行い，市立の全中学校を訪問し，市立高等学校に在学している各中学校出身者の学業や生活の様子等について報告を行い，中高の連携を図っております。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局学校教育課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 盛岡市立高校の活性化を図られたい。県教育委員会まかせでない，市教育委員会の独自の人事制度や教員配置を通じ，生徒の集まる環境を整備されたい 	<p>平成16年度から21年度まで実施した市立高校教育改革により，大学進学率，就職率が向上し，国公立大学合格者数も増加いたしました。また，部活動奨励により，スポーツ，文化活動ともに優秀な成績を収めております。</p> <p>平成25年度に策定した第二次市立高校教育改革基本方針により，教育環境の変化に対応しながら，さらなる高校教育の質の向上に努めてまいります。</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市立高校を活用して、中高一貫（連携）教育を行われたい ・ 市内全域の学校教育施設等の整備促進計画の公表（統廃合含む）をされたい。中学校での先行を行われたい ・ 中学校の部活動にかかる費用を助成して頂きたい 	<p>受験者の確保につきましては、入試制度改革や中学校訪問などにより学校の教育内容や入試制度などの説明を行なってきたておりますが、今後も引き続き学校の特色や成果等について周知を図り、受験者の増加に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局学務教職員課・市立高校）</p> <p>中高連携につきましては、これまでも、高校への体験入学，中学校と高校の教員が互いの授業を参観する研修，生徒指導上の情報を交換する場，高校の教員が中学校に出向いて高校の教育について説明する場等が設定されております。今後も，中高連携が更に充実・拡大するよう市内の中学校や高校に働きかけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局学校教育課）</p> <p>学校教育施設等の整備促進計画につきましては、「学校施設等整備基本方針」に基づき整備してまいります。</p> <p>盛岡市立小中学校の統廃合につきましては、平成21年4月に盛岡市小中学校適正配置基本方針を策定し、平成21年度から平成23年度までに基本方針に関して聴取等を行った保護者，学校関係者，地域からの意見等を踏まえ、平成24年11月に盛岡市小中学校適正配置基本計画を策定しております。</p> <p>計画では、中学校単位での統合を先行することについては特に触れてはおりませんが、地域との懇談等において、適正配置に関する意見や要望が出された場合には、適切に対応してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局総務課・学務教職員課）</p> <p>中学校のクラブ活動費の支援につきましては、経済的理由により就学が困難と認められる生徒のうち、国が支援を行う要保護生徒に対しては、平成21年7月から生活保護費の教育扶助学習支援費の一部として支給してきております。</p> <p>要保護者に準ずる程度に困窮している者の準要保護生徒に対しては、国の制度に準じながら各市区町村独自で判断し支給することとされておりますので、当市では、平成27年度からの援助実施に向け検討しているところです。</p> <p>また、県大会，東北大会及び全国大会へ派遣するために、生徒の旅費の一部を盛岡市中学校体育連盟に助成しており、27年度についても継続してまいります。</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校司書の配置をしていただきたい 	<p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学務教職員課・学校教育課)</p> <p>岩手県教育委員会では、27学級以上の小学校，22学級以上の中学校に，専任司書教諭を配置することとしており，平成26年度におきましては，市内で該当する小学校1校及び中学校2校に各1名が配置されております。</p> <p>また，学校図書館担当の非常勤職員として読書活動推進員を配置しておりますが，来年度は，学校司書と位置付けながら継続し，配置人数の増員に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学務教職員課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市立図書館の早期整備について教育委員会の考え方を示して頂きたい 	<p>市立図書館の整備につきましては，「公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針」を踏まえながら，耐震化を含めた改修工事ではなく，改築に向け，図書館のあり方，建設場所，建設の時期等を総合的に検討し，市総合計画に位置付けるよう引き続き努力してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局生涯学習課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高における特別支援学級の充実をされたい 	<p>盛岡市立小中学校に設置された特別支援学級は，平成25年度は小学校40学級，中学校20学級でしたが，対象児童生徒の増加や未設置校からの要望により，平成26年度は，小学校10学級，中学校3学級を増設しております。各学校の実態を受け，平成27年度も増設する方向で検討を進めております。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局学校教育課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育予算を増やし，耐震工事・屋根塗装・老朽校舎整備・プール改修など教育条件整備に努められたい 	<p>耐震化につきましては，工法を変更する城西中学校体育館を除き，「盛岡市立小中学校耐震化計画」に基づき，平成27年度までの耐震化の完了を目指して進めてまいります。</p> <p>屋根塗装，老朽校舎整備及びプール改修につきましては，経過年数や老朽化の状況を勘案しながら，計画的に整備するよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(教育委員会事務局総務課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 盛岡に誇りを持てる小中学生を育てるため先人に限らず現在活躍している地元人を紹介して講演を実施されたい 	<p>現在各学校では，進路学習や道徳，総合的な学習の時間等に，卒業生や地域で活躍されている方々をゲストティーチャーに招いて，児童生徒に対して講話等を行っております。今後も，地域の教育力を学校教育に導入しながら，盛岡に誇りを持てる児童生徒の</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成27年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報教育の更なる推進に向けて、LAN構築・指導者育成に努めること ・ 芸術・文化都市条例の制定を行い、それに付随した都市づくりを行われたい ・ 市立学校の生徒が年間1回は市営各施設を利用するよう奨励されたい ・ 各分野の伝統文化の担い手の相互交流を促進する機会をつくっていただきたい 	<p>育成を図るよう、各校に働きかけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局学校教育課）</p> <p>校内LANの整備につきましては、校舎の改築や大規模改造に併せて、校内LAN用の配管の設置に努めてまいります。</p> <p>指導者研修につきましては、情報教育推進のため、コンピュータ操作に係る公開講座を開設し、指導者育成に努めております。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局総務課・学校教育課）</p> <p style="text-align: center;">〔芸術・文化都市条例については、市民部文化国際室〕</p> <p>現在各学校では、生活科や社会科、理科等の授業の一環として、施設見学を取り入れながら学習しております。また、体育のスケート学習としてアイスアリーナ、先人教育の一環として先人記念館や原敬記念館、もりおか歴史文化館の見学を行っている学校もあります。さらに、小・中体連がそれぞれ主催する大会の会場を、市営施設とするなど、多くの児童生徒が利用している状況にあります。</p> <p>今後も、市営施設等を活用しながら、児童生徒の学力や体力の向上に努めるよう、各学校に働きかけてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局学校教育課）</p> <p>市では、盛岡市所在の指定無形民俗文化財及び古武道の保存・活用を図り、その保持団体の相互連絡を密にし、後継者の育成を図ることを目的とした、「盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会（52団体が加盟）」に対して、補助金を交付しその活動を支援しているほか、青少年郷土芸能フェスティバルを共催するなど、積極的に民俗芸能の担い手の育成を促進する機会を設けております。</p> <p style="text-align: right;">（教育委員会事務局歴史文化課）</p>